

モニタリング計画書

1. 大会概要

- (1) 大会名 第7回トレニックワールド in おごせ- ときがわ 50km&30km
- (2) 開催日時 2018年7月8日(日) スタート ニューサンピア埼玉おごせ ①7:30 ②8:30
- (3) 主催者名称 NPO法人小江戸大江戸トレニックワールド
- (4) 参加予定人数 ①350名 ②400名
- (5) コース
 - ①ロング 50km:
ニューサンピア埼玉おごせ～上谷農村公園～横吹峠～黒山三滝～傘杉峠～関八州見晴台～ぶな峠～刈場坂峠～大野峠～堂平山～慈光寺～萩日吉神社～新柵山～くぬぎむら体験交流館～大築山～上谷の大楠～ニューサンピア埼玉おごせ
 - ②ミドル 30km:
ニューサンピア埼玉おごせ～上谷農村公園～横吹峠～黒山三滝～傘杉峠～関八州見晴台～ぶな峠～くぬぎむら体験交流館～大築山～上谷の大楠～ニューサンピア埼玉おごせ

2. モニタリング調査

- (1) 調査位置(撮影はiPhoneカメラ、緯度経度はiPhone App ジオグラフィカにより取得)

A 傘杉峠から花立松峠に至る下り 35度56分33秒 139度13分51秒

選定理由:下りで地形がゆるい場所があるため

B 刈場坂峠から大野峠に至る岩場所 35度58分32秒 139度10分31秒

選定理由:岩の崩壊状況観察、脇トレイルの広がり状況

C 大野峠からの下り木階段と脇道 35度59分10秒 139度10分13秒

選定理由:木階段脇への影響、トレイル上植生への影響

D 白石峠へ至る下り木階段 35度59分52秒 139度10分41秒

選定理由:土壌への影響、階段脇通行の確認

- (2) 登山者・一般利用者へのヒアリング項目

- トレイルランニング大会が開催されていることを知っていたか。
- 今日の大会でランナーと接触しそうなようになった等何か通行上のトラブルがあったか。
- 今日の大会でランナーや応援者のマナー等で気になったことがあったか。
- トレイルランニング大会を行う場合どのようなことに気を付けて欲しいか。
- 大会に係る道しるべ(矢印等の進路指示)等により、混乱(分岐点等で自身のルートを惑わせた等)しなかったか。
- スタート、ゴール地点等の仮設工作物やトレイルランニング大会の関係者(ランナー含む)が集まっている場所において、通行や休憩に支障が出ていなかったか。

- (3) 調査予定日

- 事前の環境影響モニタリング 2018年7月1日(日)に実施
- 事後の環境影響モニタリング予定 2018年7月8日(日)大会当日予定
- 当日の利用影響ヒヤリング 堂平キャンプ場エイド 大会当日予定 10:00～12:00

3. 問い合わせ先

担当:太田實

住所:埼玉県川越市天沼新田 189-10-1-101

メール: info@trainic-world.org

4. ルール等におけるチェックリスト

対象者	配慮分野	チェック内容	チェック欄
主催者	環境配慮	参加者数は地域の特性等を踏まえ、適正な上限人数を検討する	合計 800 人の参加者予定。このエリアでの 1,000 人以上のイベント開催は困難と考え制限しています。
		参加者が密集して走ることとなるスタート付近については、林道、農道等の自然環境への影響がないルートとする	山道に入るまでに道路を約 10km 設定し混雑回避しています。
		必要に応じ、適当な基数のトイレを適切な箇所に配置し、適切な管理（処理方法、撤去等）を行う	約 5km 間隔でエイドを設け、施設のトイレか仮設トイレを用意します。配布するコース地図に近辺のトイレ場所を記載しています。
		開催地域外から植物が持ち込まれないよう、競技開始前には参加者及び応援者に靴底の洗浄をさせる	洗浄場所は設けていませんが、舗装道路を 10km ほど進むため、ほとんどの泥は落ちてしまうと考えられます。
		必要に応じ、住宅街や希少野生動物の生息地を避けた応援ができる場所を設定する	応援の多くはグリーンラインで、車移動と思われる。住宅街や環境への影響はほぼ無いと思われる。
		保全すべき重要な自然環境等にコース設定している場合は、必要に応じ監視員を配置する	大会中はスイーパーが最後尾より入り、コースの荒れやゴミなどをチェックします。
	安全配慮	外的危険（落石、転落・滑落、）が予見される場所（急傾斜地、岩礫地など）、脆弱な地盤、滑りやすい粘土地盤、破損のおそれのある木道等がある区間はコースとして選定しない	基本的にコースでは危険な箇所は通りません。台風など荒天時は迂回予定です。
		競技途中で事故等の緊急事態があった場合、速やかに対応できる体制を整えておく	エイドに AED 用意します。最後尾にはスイーパーが入りランナーの安全をチェックします。
		参加者、応援者及び一般利用者等に対する案内や誘導表示は、混乱を招かないよう既存の標識類と区分し、分かりやすい位置、表示内容となるよう配慮する	コースには適切な誘導と大会の告知を設置します。
		歩道等管理者、土地所有者立ち合い等により事前に歩道の安全点検等を行う	一部エリアでは、地権者、土地管理者へ意見を伺っています。
	その他	悪天候などにより、自然環境の保全上又は参加者の安全確保上の懸念が生じた場合は、速やかに中止等の判断ができるよう意思決定の体制を整えておく	責任者と本部が判断し各エイド責任者、スイーパーに傳達するようにしています。
		参加者、応援者に、大会運営上の自然環境及び安全への配慮事項を周知し、徹底させる	配布資料、HP 等で告知します。
		大会実行関係者等は、腕章等により身分を明らかにしておく	スタッフは専用のビブズを着用
		参加者には、ゼッケン等身分を明らかにするものを着用させる	ゼッケンを使用します
		ウェブサイト、公共交通機関の運行に関連する掲示スペース、県立公園内外の主要な利用拠点、登山口等において大会の開催日時、コース区間、誘導標の設置状況及び一般利用者に留意してもらいたい事項等を記載し、大会開催の周知を行う	ウェブサイトに大会期日を記載しています。大会開催案内を登山口に設置しアナウンスしています。
		大会の開催を周知するものについては、主催者の連絡先（問合せ先）を記載しておく	ウェブサイトや看板に記載します。
		主催者、参加者、施設設置者及び管理者の責任（事故発生時、他者への損害発生時）の範囲を明確化しておく	大会要項に記載しています
		事前調査を実施し、予め収集した大会の開催運営に必要な情報を基に、コース設定にあたる	危険箇所、混雑が想定される場所は回避するようにコース設定しています。
		必要な許可等を大会開催 1 ヶ月前には済ませておく	各自治体や警察への申請済み
		参加者、応援者を含む大会関係者に、トイレは所定の場所で済ませることを周知する	仮設トイレを設置しています
参加者	全般	登山者等の一般利用者を尊重し、レース中においても配慮を心掛けること	大会申込規約、配布資料（※）に記載。周知します。
		登山者等とすれ違ったり、追い抜いたりする場合は、丁寧な声掛け及び配慮を行うこと	大会申込規約、配布資料（※）に記載。周知します。

	環境配慮	設定されたコース以外は走行しないこと	大会申込規約、配布資料(※)に記載。周知します。
		トイレは所定の場所で済ませること	大会申込規約、配布資料(※)に記載。周知します。
		ゴミは持ち帰るか、所定の場所に捨てること	大会申込規約、配布資料(※)に記載。周知します。
		ストックはキャップの付いた状態で使用し、使用を認められた区間のみで使用すること	大会申込規約、配布資料(※)に記載。周知します。
	安全配慮	登山者等とすれ違う場合は、登山者等を優先させること	大会申込規約、配布資料(※)に記載。周知します。
		集団走行、並列走行は行わないこと	大会申込規約、配布資料(※)に記載。周知します。
		夜間に走行する場合は、反射板、ライト等を着用すること	ライト必須にしています。
その他	ゼッケン等を身に付けておくこと	周知します	
応援者	全般	主催者が設けたルールを遵守すること	大会申込規約に記載。周知します。
	環境配慮	登山者等の一般利用者を尊重し、レース中においても配慮を心掛けること	配布資料(※)に記載。周知します。
		歩道や園地など整備された場所以外に立ち入らないこと、特に自然植生のある場所に踏み込まないこと	配布資料(※)に記載。周知します。
		トイレは所定の場所で済ませること	配布資料(※)に記載。周知します。
		ゴミは必ず持ち帰ること	配布資料(※)に記載。周知します。

※ 配布資料(地図裏に印刷しています)

● リタイヤした場合のエスケープルート、交通手段

- ・ 傘形峠 黒山バス停→越生駅
 - ・ ふな峠 日向根バス停→せせらぎバスセンター→越生駅
 - ・ 大野峠 竹の谷バス停→せせらぎバスセンター→越生駅
 - ・ 白石峠 白石車庫バス停→小川町駅→越生駅
 - ・ 堂平キャンプ場 白石車庫バス停→小川町駅→越生駅
 - ・ 七重峠下 七重橋バス停→せせらぎバスセンター→越生駅
 - ・ 慈光寺 慈光寺バス停、慈光寺入口バス停→せせらぎバスセンター→越生駅
 - ・ くぬぎむら体験交流館 日向根バス停→せせらぎバスセンター→越生駅
- ※リタイヤする場合、直近のエイドまで行き大会本部、もしくはスタッフに連絡してください。
※必ずリストバンドをスタッフにお戻しください。

● バス時刻表 (2018年6月時点)

黒山バス停	08:45	09:57	11:03	12:05	14:24	15:28
日向根バス停	09:36	11:44	13:44	15:42	16:36	18:45(最終)
竹の谷バス停	08:27	09:35	10:43	12:39	14:43	15:41
白石車庫バス停	9:56	11:23	14:03	15:10	16:10	17:12(最終)
七重橋バス停	12:44	14:48	15:46	17:50(最終)		
慈光寺バス停	11:49	13:49	14:49(最終)			
慈光寺入口バス停	12:52	13:56	14:56	15:54	16:48	18:57(最終)

● 傷病者を見つけたら一次救命措置を

- ① 周囲の状況を把握し、二次災害の危険性がない事を判断。
- ② 傷病者の観察→意識が無い場合は協力を求め、近くのスタッフまたは大会本部にすぐに連絡をして、発見場所(スマホで緯度・経度などを確認)、傷病者の性別、ゼッケン番号、状況などを説明。
- ③ 大会スタッフとAEDの手配を依頼、電話にて救急搬送の指示があれば119番通報と通信司令員に指示を仰ぐ。(119番すると自動的にある程度位置を特定しますが、GPSの状況によっては再確認が必要となります。近くの建物や目録、住所などを説明しましょう。)
- ④ 昏倒どおりの(呼吸)が無い場合、迷ったらずに心肺蘇生を開始(胸骨圧迫)。強(5cm以上を垂直6cm未満)、早(100~120回/分)、戻して(圧を解除する)、絶え間なく(10秒以上中断しない)→人工呼吸が出来るなら圧迫:人工呼吸=30:2→気道確保→人工呼吸(軽く胸が上がる程度)2回をAEDが到着するまで続行。ただし、口より嘔吐や出血等があり、二次感染の恐れがある場合は、無理に人工呼吸せず、胸骨圧迫を絶え間なく続行する。
- ⑤ AED到着→AEDの音声メッセージの指示に従い装着→心電図解析→電気ショック→胸骨圧迫30回→気道確保→人工呼吸2回を必要ならば続行。
- ⑥ 救急隊が到着したら引き継ぐ。

大会本部 TEL 090-1468-3311、080-3511-3594

マナーアップ・トレイルランニング

※ トレイルを外さない

裸地化防止や植物の保護のため、トレイルを外して走らないようにしましょう。特に下り道でトレイルをショートカットしたり、大きく踏み外さないように注意しましょう。
危険でない限り木段(丸太などで作られた木の階段)の脇の部分は通らないようにしましょう。脇道から土砂が流出し木段が崩壊します。

白石峠の階段



※ すれ違い時には歩く

ハイカーや登山者とすれ違う際には必ず歩行してください。追い抜く際には声掛けを、すれ違い、追い抜きは安全な場所で、接触事故を予防しましょう。

※ ゴミは持ち帰る

胎の袋やジュエルの切れ端など小さなゴミを落としがちです。ゴミを落とさない(持ち込まない)工夫をしましょう。また、ゴミを公共施設のゴミ箱などに捨てないようにしましょう。

※ トイレを利用しましょう

環境へ配慮しトイレはできるだけ所定の場所で済ませてください。携帯トイレも活用しましょう。

※ 自然を大切に

埼玉の里山にも絶滅危惧植物があります。オオキジノオ、ホンバカナワラビ、ナチクジャク、クリハラン、アオネカズラ、ホンバトリカブト、ベニバナヤマジャクヤク、ウメツギ、ツルギキョウ、ムギラン、ユウシュンラン、クマガイソウなどです。
これらを保護するためトレイルを外して走らないようにしてください。また、大会でのストック利用は禁止です。

※ 登山者や近隣住民に配慮

大会コースはランナー専用ではありません。多くの人が快適に安全に利用できるように暮ることが大切です。また、住居近くで早朝や夜間に大きな声で話したり、熊鈴の鳴らしはなはは控えましょう。応援する際の場所や駐車にも留意をお願いします。



アオネカズラ ベニバナヤマジャクヤク ウメツギ ツルギキョウ クマガイソウ

Illustration created by freeph